

# 洞爺湖町 議会だより

No.59

令和2年11月・12月会議  
2021.2



## 主な内容

P 2～3 令和2年11月12月会議  
審議内容

P 4～11 一般質問8名登壇

P12～13 常任委員会活動レポート

P14 議会のルール⑤・議会の動き  
編集後記

# 令和2年 11月会議

11月会議が11月27日開会し町長から提出の条例改正3件補正予算1件の議案を原案どおり可決しました。

## 【主な議案の審議内容】

### 条例改正

○洞爺湖町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

○洞爺湖町特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正

○洞爺湖町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に準拠し、特別職や議員及び職員の期末手当支給率を0・05月引き下げとすることに伴う条例の改正。

### 補正予算

○一般会計

歳入歳出をそれぞれ67

28万円増額。新型コロナウイルスウィルスワクチン接種体制確保事業388万円、医療機関等支援対策事業（医療機関等支援助成金）1330万円、農林漁業支援対策事業（農林漁業者事業継続支援補助金4860万円、スマート農業推進基盤整備補助金150万円）5010万円を増額補正。

# 令和2年 12月会議

12月会議が12月10日から14日まで開会し、町長から提出の議案18件を原案どおり可決しました。また、議員提案の意見書2件を否決、陳情1件を採択しました。

なお、8人の議員が一般質問を行いました。

## 【主な議案の審議内容】

### 条例改正

○地方税法の一部改正に伴う関係条例の整理

地方税法の改正に伴う文言の整理。

「特例基準割合」↓「延滞金特例基準割合」へ変更。

○洞爺湖町国民健康保険税条例の一部改正

個人所得課税の税額軽減判定に用いる基礎控除額と算定方法及び課税限度額の改正。

○洞爺湖町健康福祉施設条例の一部改正

洞爺湖町健康福祉センター「さわやか」のトレーニング機器を、社会福祉法人あぶた福祉会の「ざぼーとステーションゆうあい」施設内へ、移設することに伴う条例の一部改正。

○洞爺湖町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部改正

居宅介護支援事業所管理者について、主任介護支援専門員（主任ケアマネージャー）の確保が困難な場合に管理者を介護支援専門員（ケアマネージャー）とする猶予期間を令和9年3月

31日までとする条例の一部改正。

## 指定管理者の指定

○洞爺湖町営バス

・指定管理者  
有限会社 洞爺運輸

・指定期間

令和3年4月1日から令和6年3月31日まで

○洞爺いこいの家及び洞爺水辺の里財田キャンプ場

・指定管理者

洞爺産業 株式会社

・指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

## 洞爺湖町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更

○新規事業の追加に伴う事業内容及び概算事業費の変更

## 規約の変更

○西いぶり広域連合規約の一部変更について

令和3年度から洞爺湖町が広域連合の共同電算へ加入することによる規約の一部変更。

○西胆振介護認定審査会共同設置規約の一部変更について

○西胆振障害者自立支援審査会共同設置規約の一部変更について

洞爺湖町、豊浦町及び壮瞥町の3町により共同設置している審査会について、持ち回りとなっている事務局が洞爺湖町から壮瞥町へと移行することによる規約の一部変更。

## 町道の廃止

○早月幹線において、落石の多い危険個所で開発計画が無い区間3026メートルを廃止

## 補正予算

○一般会計

歳入歳出をそれぞれ2億4145万円減額。

補正の主な内容は別表1のとおりです。

○国民健康保険特別会計

歳出のみの補正で増減額なし。

職員給与等で267万円



を減額、予備費などを26  
7万円増額補正。

○公共下水道事業特別会計

歳入歳出をそれぞれ62  
5万円減額。

下水道使用料を2307  
万円減額、減収による補填  
財源として特別減収対策企  
業債1600万円を計上。  
下水道ストックマネジメン  
ト計画変更委託業務200  
万円を増額、予備費で79  
3万円を減額補正。

○介護保険特別会計

歳入歳出をそれぞれ45  
8万円減額。

職員給与等で458万円  
を減額補正。

○簡易水道事業特別会計

補正による予算の増減額  
なし。

専用給水料を537万円  
減額、一般会計からの繰入  
金を67万円増額、減収に  
よる補填財源として特別減  
収対策企業債470万円を  
計上。給水管漏水修繕16  
8万円を増額、予備費で1  
68万円を減額補正。

○後期高齢者医療特別会計

歳入歳出をそれぞれ47  
1万円減額。

職員給与等で471万円  
を減額補正。

○水道事業会計

収益的収支のみの補正で  
770万円を減額。

収入で水道料金を584  
万円減額、一般会計からの  
補助金を586万円減額、  
減収による補填財源として  
特別減収対策企業債400  
万円を計上。支出で膜ろ過  
洗浄委託業務、検満量水器  
取替工事等の完了確定に伴  
い770万円を減額補正。

意見書

○新型コロナウイルス感染症  
対策の強化等を求める意見  
書(案) — 否決 —

○最低賃金の改善と中小企業  
支援策の拡充を求める意見  
書(案) — 否決 —

陳 情

○温泉使用料に対する陳情書  
— 採択 —

別表 1 一般会計補正予算の概要

| 款               | 予 算 額     | 補 正 額     | 補正後予算額    | 補 正 の 主 な 内 容                                                                                                                                                          |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 議 会 費           | 5925万円    | △14万円     | 5911万円    | 支給率の改正による議員期末手当の減                                                                                                                                                      |
| 総 務 費           | 8億7708万円  | △95万円     | 8億7613万円  | 各種会議・研修会等の中止などによる減                                                                                                                                                     |
| 民 生 費           | 17億6028万円 | 2422万円    | 17億8450万円 | 自立支援給付費扶助2019万円の増<br>介護保険及び後期高齢者医療特別会計繰出金948万円の減<br>子ども・子育て支援事業、児童特別対策事業1844万円の増<br>保育所整備に伴う基本設計業務委託料477万円の減                                                           |
| 衛 生 費           | 3億9787万円  | △116万円    | 3億9671万円  | 指定ごみ袋作成費153万円の減<br>さわやかトレーニングルーム移設業務委託37万円の増                                                                                                                           |
| 農林水産業費          | 1億4214円   | 121万円     | 1億4335万円  | 木材利用促進による小学校の机・椅子整備事業費の増                                                                                                                                               |
| 商 工 費           | 5億8448万円  | 2087万円    | 6億535万円   | 洞爺湖温泉観光協会貸付金2000万円などの増                                                                                                                                                 |
| 土 木 費           | 13億6149万円 | △2億6191万円 | 10億9958円  | 除雪機械購入869万円の減<br>民間大規模建築物耐震改修補助金2億5979万円の減<br>公営住宅修繕等476万円の増など                                                                                                         |
| 教 育 費           | 6億1454万円  | △152万円    | 6億1302万円  | G I G Aスクール整備事業133万円の減など                                                                                                                                               |
| 給 与 費           | 10億2483万円 | 2420万円    | 10億4903万円 | 一般職給与1330万円の増<br>管理職手当400万円の増<br>退職手当組合負担金690万円の増                                                                                                                      |
| 予 備 費           | 3514万円    | △392万円    | 3122万円    |                                                                                                                                                                        |
| 新型コロナウイルス感染症対策費 | 13億6975万円 | △4235万円   | 13億2740万円 | 特別定額給付金事業631万円の減<br>特別会計繰出金及び企業会計補助金537万円の減<br>児童生徒感染予防対策事業1140万円の減<br>飲食店等経営支援助成金1440万円の減<br>店舗等賃貸料助成業務委託料1034万円の減<br>宿泊・商品券発行事業補助金327万円の減<br>スナックバー等経営継続支援給付金900万円の増 |

# 庁舎内における感染症 予防対策の強化を！

石川 邦子（町民ネットとうや湖）



## 質問 1

**庁舎内における新型コロナウイルス感染症対策について**

**問** 道内の自治体において、職員の感染により一部役場業務が停止するなど、住民サービスに影響が出て、町民の不安が募る事態が起きています。庁舎内の感染症予防対策の取り組み状況は。

**答** 職員の体調管理の徹底、体温測定やマスクの着用消毒の実施、窓口カウンター飛沫感染防止シートの設置、感染リスクを回避できない場合の懇親会等や札幌との不要不急の往來の自粛要請など、さまざまな予防対策を行っています。

**問** 業務の一部停止を余儀なくされた場合の対策は。

**答** 業務体制の維持や指揮命令系統の確認を行い、各課ごとに作成した業務を継続するための具体的な対応マニュアルについて、課の職員全員が感染した場合を想定し、

再度各課で確認を行っています。

**問** 今後の対策として、アクリル板など強度な飛沫感染防止版の設置や、定期的な換気タイムを設けるべきと思うが、更なる予防対策の考えはあるか。

**答** 今後は、これまでの感染予防対策の徹底、全課に飛沫感染防止パーテーションと加湿器の設置、庁舎内の換気システムの稼働に加え定期的に窓を開けるなど、適切な換気を行い、対応してまいりたいと考えています。



役場庁舎の窓口

## 質問 2

**コロナ禍における保育所の情報通信技術（ICT）の活用について**

**問** 保育のICT化はパソコンやタブレットによる業務軽減システムで、胆振管内の保育所においても、メール配信や書類作成ができる児童管理システムや、コロナ禍におけるアプリを使った保育所と保護者間のコミュニケーションツールが導入されています。国の保育対策総合支援事業費補助金を活用した保育管理業務のICT化を進め、業務負担の効率化を図る考えはないか。

**答** 電子化については、保育業務の負担軽減、情報社会の構築のため、どのような形で有効活用ができるのか、先進地からの情報収集などを行い、保育所と十分協議をして始めてまいりたいと考えています。



保育所の様子

**問** メール配信の連絡については、保護者と保育士双方の利便性を図ることができ町内の小中学校では既に活用されています。小中学校の連絡体制の状況と今後の保育所での活用について伺う。

**答** 各小中学校については、保護者へ学校行事の連絡や緊急連絡など、文書配布や連絡網に加え、メール配信により連絡を行っています。

保育所についても、町内小中学校で取り入れている実績を参考に、保育所と協議をして整備する方向で進めてまいりたいと考えています。



# 感染拡大の現状に追いついていない PCR 検査体制の強化を

立 野 広 志 (日本共産党)

## 質問 1

**コロナ感染対策は「検査・保護・追跡」の抜本的強化を**

**問** 新型コロナウイルス感染症は、日々深刻さを増している。このまま感染爆発となると、本来救える命すら救えず、医療崩壊につながりかねない。感染者を最小限に抑えるためには、積極的かつ戦略的な PCR 検査の拡充、医療機関への支援、保健所機能の強化、事業者支援の継続、感染者への差別防止対策などの対策強化が求められる。

**答** 本来的には検査ができれば一番いいが、それはなかなか難しい問題があります。事と次第によっては検査も国のほうでやっていたきたい。これも声を上げていきたい。

**問** 国の対応は、あくまでも陽性者が出た場合、国費で PCR 検査を実施するとしており、無症状者の徹底した把握なしに、今の感染拡大を抑えられない大きな要因がある。その認識はあるか。

**答** 国には、もっと積極的な感染防止のための努力をしてほしいと思うが、現実的にはやはり難しい。町自体が社会検査とか面的検査をやることも、そう簡単にはいかない。

**問** 最大の経済対策は感染予防対策だと言われるぐらい、感染対策に力を入れなければ地域の経済も守れません。町内の医療機関、介護施設などでのクラスターの発生を抑えるためにも最低限、そこに



従事する職員の PCR 検査は事業者、そして町とも共同して実施していくことが大事ではないか。

**答** 病院に限らず、高齢者施設あるいは保育所、学校などで陽性者が出たときには保健所のほうと相談しながらしっかりと対応していきたい。

## 質問 2

**高齢者医療の充実について**

**問** 「高齢者の医療の確保に関する法律」が改正され高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施のため、国や広域連合の負担で保健師の配置を行うことができるが、その対応は。

**答** 町は、保健・介護一体的な実施推進事業の実施方針を策定していません。大きな財政的支援があるだけに、積極的にこれを受け入れ活用していくべきと思います。令和 4 年度以降で事業の実施に向けて検討を進めてまいります。

## 質問 3

**少人数数学級に関わる町説明文書の内容について**

**問** 町説明文書の内容は、これまでかたくなに少人数数学級を拒んできた与党に対して、粘り強い国民的運動によって前進してきたもので、町の公文書には偏りがあるのではないか。

**答** 説明では言葉足らずで不十分であったこと、また配慮にかけていたことに深くおわびを申し上げたい。少人数数学級実現に向けてご尽力をされてこられた方々の思いや願い、これを軽視するものではないと思います。

**問** 方針変更となった保育所の統合・新設の事業費はどの程度を見込んでいるのか。

**答** 当初の虻田小学校への移設と遜色ない金額か、それ以下でできるのではないかと考えます。



# 住民にも観光客にも 喜んでもらえる町に

今 野 幸 子 (日本共産党)



## 質問 1

**虹田小学校グラウンドに  
サッカー用の夜間照明  
の設置を**

**問** サッカー用の夜間照明を  
設置してほしいとの相談  
があり、要望書を提出させて  
いただきましたが、その後、  
要望書の進展はあるか。

**答** 検討を進めています。ク  
リアしなければならな  
い課題も考えています。1点  
目は、照明を取り付ける位置  
や、その効果等の調査。2点  
目は、周辺住民皆様のご理解  
を得られるよう配慮してい  
かなければならないと考  
えています。

**問** 近隣の方々や校長先生に  
話を伺ったところ、皆さ  
ん「全々構いませんよ」等  
の返事をいただいてますが  
いか

**答** 地域少年スポーツ発展の  
ため、子どもたちの健全  
育成のために、夜間照明の  
設置につきましては、検討を  
進めてまいります。

## 質問 2

**高砂貝塚館・入江貝塚  
公園・郷土資料館の環  
境整備を**

**問** 貝塚の世界遺産推薦を活  
かすには、今後の対策に  
かかっている。集客目標と高  
砂貝塚館に一度に入館する人  
数の想定は。

**答** 集客は4月から11月まで  
で5千人を想定し、貝塚  
館に入館する最大の入場者は  
実績から、50人と想定してい  
ます。

**問** トイレにかかる時間は、  
一般的には女性のほうが  
かかりますが、男子トイレよ  
り少なく、化粧室と言われる  
トイレに化粧を直す所もなく  
トイレは和式ですが、町の考  
えは。

**答** 化粧台の設置については  
検討し、限られたスペー  
スでできる限り対応します。  
建築サイドと町部局とも十分  
協議・検討させていただきま  
す。トイレの洋式化は、整備  
していかねばならないと

思っています。順次整備をし  
てまいります。

**問** 入江貝塚公園の草が伸び  
て、保育所の子どもたち  
の手や足が草負けしてしまう  
人手が足りない等の話も聞い  
ています。また切った木の枝  
の処理や座れないベンチなど  
人手が足りないのなら増やし  
ても管理が必要ではないか。

**答** 機械の故障により草刈り  
の時期が遅れましたが、  
その後草刈りを実施しました。  
落ちている枝やベンチの老朽  
化につきましては早急に対応  
します。

**問** 管理しなければなら  
ない公園も増えましたが人手  
は充分に合うと考えますか。

**答** 高砂貝塚公園は、高齢者  
と事業団に委託をし、職員  
と事業団で進めていきます。  
また常用の機械も保有しまし  
たので、かなり効率化を図れ  
ると考えております。

**問** 貝塚館や資料館等の消毒  
も、団体が入ればその都  
度消毒が必要となりますが、  
人手の配置はどのように考  
えているか。

**答** 来年度、2名の学芸員の  
うち1人を郷土資料館に  
配置させていただき、今いる  
職員と2人態勢でお客様をお  
招き、並びに感染対策をする  
方法も十分協議の上で、考  
えていきたいと思



入江・高砂貝塚館



# 安心・安全な町づくり！

大久保 富士子（公明党）

## 質問 1

### がん検診の

### 支援について

**問** 町の検診事業の状況と無料クーポン券の配布と実施状況は。

**答** 町内の四十歳以上の方が検診の対象者となります。対象者数は3460名で受診者数は201名という状況となっています。

無料クーポン券は対象者へ毎年7月に発送しています。

**問** 例年と比較して、昨年の受診率は。

**答** 令和元年度では、10・1%となっており、減少傾向となっています。

**問** 今後、検診受診率の向上の為に、対応、対策は。

**答** 新たな受診向上につながる取組みとして、婦人科と一般のがん検診が可能となる札幌市の対がん協会での、バス検診を予定していましたが、コロナ禍の状況で中止となりました。

今後、次年度以降また新たな

な取組を札幌市の対がん協会でのバス検診など、受診率の向上を図ってまいりたいと思っています。



検診の様子

## 質問 2

### 高齢者への

### 支援について

**問** 町として虚弱予防強化の取組は。

**答** 町においては洞爺湖町健康づくり推進委員会の活動として便りを発行しています。内容は、自宅で行える運動、食生活、口腔ケア、心の

健康など各々が健康管理できることについてお知らせしています。

**問** 町として高齢者の運転免許証自主返納に対しての支援、対応策の考えがあるか。

**答** 70歳以上の高齢者は、町のコミュニティバスと民間事業者の路線バスについて町内の全区間に100円の低価格で利用でき、免許返納時に地域公共交通への移行の際に大きな負担とならないよう、料金設定をしている所です。



町内巡回バス

## 質問などは要約されています

議会だよりは、スペースの都合から質問・答弁の全文を掲載することができないため内容を要約して載せています。詳しくお知りになりたい方は、あぶた・みずうみ読書の家、洞爺総合センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧下さい。

また、インターネットで議会中継も行っていますので、洞爺湖町議会ホームページからご覧下さい。

お問い合わせ 議会事務局 TEL 0142-74-3011



# 誇れる地域特性を 活かした町づくりを！

下 道 英 明（町民ネットとうや湖）



## 質問 1

誇れる地域特性を活かした町づくり

**問** 「財田地区親水公園」は旧洞爺村で平成14年に中山間地域整備事業で整備したが、当初の目的と期待は。

**答** 地域住民の休養・健康増進などの機能を有する野外での施設整備が求められ、親水公園及びソウベツ川沿いに自然を探勝できるような整備し、住民の憩いの場、環境学習の効果が期待できるとしたものです。

**問** ソウベツ川沿いの遊歩道魚道の現状での整備状況が不十分だと感じたが、現況と今後の整備見直しは。

**答** 親水公園の清掃業務は、草刈りを5月と10月に1回、6月から9月まで月2回実施。魚道管理は、洞爺湖漁業協同組合で管理しています。親水公園から財田キャンプ場にかけてジオパークの散策コースとして位置づけられ、景観維持と環境整備を引き続き

進めたいと考えています。また関係課と連携を図りPR及び利用の促進に努めて参ります。



財田親水公園

**問** 法律、条例上の視点から役場組織について再点検します。全国的に平成の合併時には、本庁舎所在地が変更になった地区では「分庁方式」「総合支所方式」「分庁・総合支所複合方式」などで合併組織の方式をとります。

平成18年3月に旧虹田町と旧洞爺村が合併した当初は、本庁機能を旧虹田町に設置し、旧洞爺村は総合支所として区域を所管する行政機関で「総合支所方式」を採用しました。平成24年3月の条例改正による機構改革で、本庁機能を担う農業振興課等を洞爺総合支所へ移行しました。合併組織の形態が「分庁・総合支所複合方式」に代わったその際に地方自治法で定める区域を所管する組織の「洞爺支所設置条例」を削除するずれが生じました。法令違反の疑いがある現状を速やかに条例改正として検討すべきでは。

**答** 「総合支所方式」における事務効率、決裁スピード、本庁との調整、意思疎通等の困難が表面化して、農業政策や農業委員会の洞爺地区への移行を望む声があり、本庁及び総合支所間の総合調整機能の充実と意思決定、部制の復活が図られました。ご指摘を受けた条文の改正等については、改めて精査してまいります。

## 質問 2

質の高い行政サービスに向けて

**問** 社会経済情勢の急激な変化に伴う地方自治体の財政状況の悪化により、限られた予算をより効果的に配分し町民の理解を得ながら行政推進するにあたり文書管理、個人情報保護、経理事務等について適正に業務を執行する必要があります。質の高い行政サービスの提供に向けて、法令厳守、いわゆるコンプライアンス条例制定の考えは。

**答** 町としては、法令違反の未然防止や是正などを行うために公益通報制度を設けており、町職員や事務事業の委託者や請負者に法令に違反する事業や事務に係る不当な事実があった場合は、町長または職員以外の行政監察員に通報し、是正する仕組みを導入しております。まずは、この規制・要綱をしっかりと踏まえて実施してまいります。





# 復調の兆しが見えるまでは 二次・三次の支援が必要

五十嵐 篤 雄 (侑志会)

## 質問 1

**コロナウイルス感染症への支援策と発症者が出た時の対応について**

**問** 農業・漁業者への支援金の支給がこの時期になった理由は、支給額は何を基準に算定されたのか、国への持続化給付金を申請し給付を受けた事業者の把握はされているか。

**答** 秋の収穫やホタテの出荷時期をむかえ、コロナウイルス感染症の拡大で国内消費の落ち込みや輸出の減少により、農水産物の単価が下落する状況が把握できたのでこの時期になりました。事業継続の下支えを支給の目的としているので、農協、漁協と協議し一律の給付としました。持続化給付金について農業者の申請については把握していませんが漏れがないよう制度の周知に努めます。漁業者については対象30件が申請をしている状況です。

**問** 支援金の支給は実施されたが、復調の兆しも見えなく、給付金も底をつく状況です。倒産や雇用を守るためにも再度支援する考えはないか。

**答** 飲食店の「飲」の部分で30の事業所に30万の助成をしたいと思います。また、臨時交付金が交付されれば、経済回復・感染拡大防止に向けて、検討し取組みを進めます。



ホタテ水揚げの様子

**問** 「洞爺湖あつもりプレミアム商品券」の販売結果を踏まえ、期限を延ばしたり再度の購入は可能か。

**答** 有効な活用が経済の回復や住民生活の支援につながることから期間の延長や追加の販売方法等検討しています。

**問** 感染者や濃厚接触者が出たが、復調の兆しも見えず、給付金も底をつく状況です。倒産や雇用を守るためにも再度支援する考えはないか。

**答** 「洞爺湖町新型コロナウィルス感染症対応マニュアル」を作成しています。それに沿って対応をしているところでは、

## 質問 2

**共同電算システムの利用について**

**問** 電算処理を広域連合に移行するにあたり令和4年1月になった理由は、初期費用額、年間費用額の見込みは、コスト削減につながるのか。職員の研修の必要性については、

**答** 広域連合の電算機器が令和4年1月に入れ替わること、電算システムの移行は業務の関係から1月と3月が適していること、年末年始の休暇で移行の設定の時間が取れることから1月になっています。初期投資として約2億2500万円見込んでおり、

年間の保守費用は約5800万円となり、現状との比較で年間約2500万円程度の削減が見込まれます。職員研修操作研修の実施を予定しています。

**問** ほぼ全部のシステムが移行することになると思いますが残るシステムとその理由は、

**答** 上下水道料金システムと戸籍総合システムは移行経費が高額で見送っています。また、共同電算システムで扱っていないシステムは現状のまま使用することになります。

**問** 登別市が独自に決裁システムの新規導入を申請していますが、この際、当町も将来を見据えて導入を考えてはどうか。

**答** 登別市は、テレワーク、ペーパーレス化、意志決定の迅速化等の効果を期待して導入したと聞いています。当町では、紙での決裁という形で運用をしているところでは、

# 町としてコロナ対策万全に！！

板垣正人（公明党）



## 質問 1

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 感染拡大が続いているが町が関係する行事等（中止延期も含め）の予定は。

**答** 町内の開催行事につきましては、年末年始の状況で、出初め式、歳末特別警戒老人クラブ新年交流会、地域食堂など中止の決定がされております。成人式につきましては、延期の方向で調整しております。町内の公共施設の休止につきましては、町民回覧、新聞折り込みにおいて案内させていただきます。

**問** 観光業（観光・宿泊・飲食等）を中心に新型コロナウイルス感染症の影響で疲弊しつつあります。町として新たな支援が必要と思うが考えは。

**答** 飲食業全般、また観光業全般、その他事業にも、これだけコロナの影響が長期化していますと、ますます大きな損失等で経営が苦しくな

っていく状況だと思えますので、町としましても国の交付金を予定しながら、できる範囲の支援を考えていきます。今議会終了後、早急に検討して行きます。



**問** 感染が続く中、民間施設（ホテル・飲食店等）に発熱（37.5℃以上）された方を確認した時のマニュアルを町として作成するべきと思うが考えは。

**答** 早急に作成していきます。

## 質問 2

### 住民サービスについて

**問** 町から発進される情報が多い中、理解できない町民も多いことから、便利帳的なものをつくるべきと思うが町の考えは。

**答** 旧虻田町で「暮らしのガイド」合併時に洞爺湖町として「暮らしのガイドブック」を発行しておりますが、前回発行から14年経過していることから、改訂版の発行に向けて調整していきます。

**問** 国において行革担当大臣が推進している「押印廃止」について、町としての影響と見解を伺う。

**答** 町として、事務の簡素化申請手続の簡素化による住民の利便性の向上につながる内容については、町として見直していきます。この後、移行時に速やかに移行できるように十分調査していきます。



## 通年会期制

議会は、一年間を会期とする通年会期制となっています。

このことにより、常に議会が活動できる状態となり、議会を開く日（定例日）はあらかじめ決まっていますが、必要ときはいつでも議会を再開することができます。本議会の多様な運営や災害時の緊急対応、委員会活動の活性化など、議会の主導的な活動に取り組んでいます。

### －今年の定例日－

令和3年 3月会議 令和3年3月 5日から開催予定です。令和3年 6月会議 令和3年 6月15日から開催予定です。  
令和3年 9月会議 令和3年9月10日から開催予定です。令和3年12月会議 令和3年12月10日から開催予定です。





# あなたを守る共生社会を

越前谷 邦 夫 (令和会)

## 質問 1

**令和3年度洞爺湖町予算編成について**

**問** コロナ禍での令和3年度重点項目、新型コロナウイルス感染症防止対策・経済対策等の基本理念と基本姿勢を伺う。経済の悪化等により町税の大幅な減収環境での厳しい予算編成になると思う。ハード面の事業は。

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響により、税収の先行き不透明な状況で町民税の減、法人の業績悪化に伴う法人税の減、固定資産税の評価替えによる減、町税全般において減収が見込まれる。地方交付税につきましては、合併算定替えの終了。令和2年度国勢調査人口減が反映され大幅な減収が確実な状況ですが、子育て支援・福祉や教育・防災・減災対策等町民生活に不可欠なサービスを安定的に提供。ポストコロナ時代に対応するため、感染拡大防止の取組、社会・経済活動の

両立は継続して図る。新型コロナウイルス感染症対策経費は現時点では予見可能な範囲での予算編成となります。ハード面事業については議会終了後、中身を精査しますが、現時点では継続事業中心に編成するものと思われます。

**問** 町の機能をしっかりと定着、役場職員の健康状態を管理、来庁される住民の健康を確認するためにも検温器を設置すべきでは。

**答** 前向きに検討させていたできます。

**問** 戦後最大の経済危機、冷え込んだ経済をどう立て直すのか、行政に参画している者の責務である。各産業団体から要望書、陳情書が出されているが。

**答** 町が取り組んできた支援策は全体を見渡し公平に支援する対策を講じてきました。全体のことを考えながら物事を進めていかなければなりません。国の方にも要望して参ります。

## 質問 2

**コロナ禍での生命と暮らしを守る共生社会の充実について**

**問** コロナ禍での地域防災・減災対策、防犯等弱者支援を強化する。地域共生社会の拡充について問う。

ヤングケアラー（若い18歳未満の介護者）洞爺湖町内でこうした家庭環境はあるか。

**答** 洞爺湖町内の小中学校の児童・生徒に確認したところ該当者はおりません。今後の対応として、日頃から児童・生徒の家庭の状況を把握し、学校と連携の上、困りごと、悩めることのある児童・生徒を見逃さないよう努めて参ります。

**問** 災害対策基本法が改正される。災害弱者の避難計画を各地方自治体での作り上げを義務づける改正である。洞爺湖町では災害弱者避難計画は作成済みであるが、自主防災組織の実態と運営状況・財政支援は。

**答** 自主防災組織8自治会設立、地域での弱者支援には自主防災組織は必要不可欠洞爺湖温泉地区の自治会を中心に未設立の自治会に、町長自ら直接お願いに伺うことになっており、補助制度、補助金など内部で十分検討して参ります。

**問** 減災対策として洞爺湖町には土砂崩壊の危険区域危険箇所が92か所あるが。

**答** 北海道の主体事業である基礎調査が終了した箇所から年次計画で対策工事を進めています。

**問** 防犯対策、地域共生社会の充実を念頭に洞爺湖町に地域見守り隊が結成された。高齢者、地域の宝である子供を守る体制は。

**答** 見守り隊現在9名、自主的活動に敬意を表します。活動団体が増えることにより明るく、安心して暮らせる地域になっていく。町も活動を支えて参ります。



# 常任委員会活動レポート

## 総務常任委員会

### ■調査事項

小学校・中学校の現況について

### ●調査日

令和2年11月30日

### ●調査内容

町内小中学校の現況については、新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にあることから、学校訪問は行わず、事前に通知した質問事項を文書により回答提出していただきました。

### (質問事項)

1 休校による授業不足の解消状況は。また、問題点はありませんか。

2 取りやめた行事は。また、実施した行事はどのような対応をして行われましたか。

3 感染症対策のための設備や備品は十分に整っていますか。

4 校舎内の消毒作業において課題はありませんか。(人員時間など)

5 不登校児童・生徒の現況について、現在どうなっていますか。

6 「教育のデジタル化」への取組みについて、今後の進め方と課題は。

### ●調査結果

1 授業不足の解消については各学校ともに工夫と努力により、時期は別々であるが解消可能となっているが、再び臨時休校などが発生した場合、授業日数に余裕がない学校は再度の取組みが必要となる。人数を半数にして行った授業は、教師に相当な負担がある。

2 実施した行事は、必ず感染予防対策を施して行われ、校内での行事は、規模の縮小や参加者限定などの対策がとられている。宿泊を伴う行事については、行き先や交通手段の変更、宿泊部屋数を増やす等の対応を行い実施。防犯教室や避難訓練は中止せずに実施しているようだが、教育委員会にて、このような行事

の取扱いを明確にすることが必要である。

3 備品や設備については、各学校ともに整っているが、広いホールを教室代わりに使う場合があり、冬期における暖房設備の増設が求められている。

4 校舎内の消毒作業については、消毒作業員が配置されているが、作業終了時間と教職員の退勤時間の違いによる問題が生じている。

5 不登校児童・生徒の現況については、学校による対策・努力の結果、減少傾向となっているが、楽しい学校生活が送れるよう引き続き一層の努力をお願いしたい。

6 教育のデジタル化については、GIGAスクール事業により、一人一台のタブレットが導入される。活用方法については、教職員の研修、オンライン授業の進め方等に取組む必要があり、学校現場での現状を把握しながら課題を解

決して支援をする必要があると思われる。

以上コロナ禍における各学校の状況です。かつて経験したことのない環境の中での教育が求められている。感染を防ぐことが一番に重要なことであり、この苦境を多くの関係する方々に協力をいただき乗り越えなければならぬ。

## 経済常任委員会

### ■調査事項1

洞爺湖森林博物館新築工事の進捗状況について

### ●調査日

令和2年10月7日

### ●調査結果

本年度整備される森林博物館は、木造平屋建て面積407・32㎡で、洞爺湖の自然環境などを紹介する展示スペースとカフェレストランを備えた建物となっている。展示スペースは、ジオパーク情報ゾーン、洞爺湖と中島の自然ゾーン、中島散策情報ゾーンの3つのテーマでゾーン分けされ、自然溢れる町の魅力を発信するものとなっている。

### ■調査事項2

洞爺湖温泉大通り線改良工事の進捗状況について

### ●調査日

令和2年10月7日、11月20日

### ●調査結果

道路工事に併せて水道の配水管布設工事も行われており現在の進捗率は50%で令和2年12月11日までの工期となっている。道路の改良工事は、現在の進捗率が20%程度で工期が令和3年1月12日までとなっている。

水道の配水管布設工事の着手終了区間から道路改良工事が随時進められ、温泉配水管



や電線などの埋設物が多いことから作業に時間を要しているが概ね順調に実施されている。観光関連の建物が立ち並び主要な道路で、常に多くの観光客や地域住民が利用されている道路でもあることから充分配慮し、安心安全な工事の実施に努めていきたい。

### ■調査事項3

#### NPO法人洞爺まちづくり

#### 観光協会の現況と課題について

### ●調査日

令和2年11月13日、11月30日

日

### ●調査結果

NPO法人洞爺まちづくり

観光協会の会員は、団体正会員5名、正会員73名の計78名となっている。本年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響や、湖畔キャンプ場の利用を休止としたことなどから、とうや水の駅の利用者は減少したが、マリンキャンプ、水上オートバイの来訪者は昨年度より増加した。

また、近年は利用者のマンナの低下が問題となっており

洞爺湖適正利用協議会にて一定のルール作りを検討しているところである。湖畔キャンプ場においては、利用者による騒音やマナー違反などにより地域住民からの苦情も多くなり地域住民からの苦情も多くなり

寄せられ、今後のあり方や存続について協議検討をしているところであるが、閉鎖となつた場合は解決しなければならぬ問題もある。湖畔キャンプ場などの件については、町において各関係団体と協議検討を進め慎重に判断すべきである。

### ■調査事項4

#### J Aとうや湖の現況と課題について

### ●調査日

令和2年11月13日

### ●調査結果

令和元年のJ Aとうや湖の全体販売高における洞爺湖町の販売高は、青果指導販売課で約14億1170万円、農産指導販売課で約4億3635万円、畜産指導販売課で約3億7821万円となっており全体で22億2626万円であった。

令和2年における農作物の生育及び収穫状況についてはじゃがいもは前年並み、根菜類は一部で前年より収量が減少となるものもあるが、長芋は好調となっている。水稻は天候に恵まれ順調に生育し増収、豆類は前年並みとなっている。畜産に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により牛肉の単価は下落したが、豚肉は輸入品の減少により国産が増加、生乳生産量も昨年度より増加となっている。

クリーン農業については、多くの農家が生産物の安全安心な提供に取組んでおり、第三者認証（YES！クリーン認証農家277戸、エコファーマー認定者数53名）を取得している。

また、J Aとうや湖は令和2年から令和6年までを期間とした「農業振興・経営中期5カ年計画」を策定し、農作業の省力化・効率化を目指したスマート農業（ロボット技術やICTの活用）の導入普及を進め、高齢化や労働力不足といった課題の対応に取り

組んでいる。スマート農業の推進に当たっては、町の協力が重要であり、今後も引き続き支援が必要である。

### ●調査事項5

#### 一般社団法人洞爺湖温泉観光協会の現況と課題について

### ●調査日

令和2年11月20日

### ●調査結果

洞爺湖温泉の観光客入込数は、国内外の観光需要が高まり回復基調にあったほか、プロモーション事業やイベント事業などの積極的な取組みにより、平成29年度は約73万人、平成30年度は北海道胆振東部地震の影響により落ち込んだものの宿泊者数は71万4千人、令和元年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響などにより宿泊客が減少し62万7千人であった。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う国や道による緊急事態宣言や、感染拡大防止による外出自粛などにより、町の多くの観光施設が休業・休館の措置を取った。種々の経済対策により8

月・9月の入込は前年比50%まで回復を見せていたが、入込数は統計を開始した昭和50年度以降で最も低くなることから予想されている。また、洞爺湖温泉の修学旅行は、平成18年度以前は4万人前後であったが年々減少し、本年度においても、昨年度と比較し20%ほど減少する見込みとなっている。

観光協会においては、Wi-Fi、thコロナ・アフターコロナ期に向けた事業を進めており旅行者及び従業員の安心・安全の確保、関係団体と連携した地域経済の活性化に向けた事業の展開、観光の窓口となる場での感染予防対策などを推進するとともに、種々のツールを利用した町の情報発信を強化など誘客促進の取り組みも行っている。

観光事業者においては、大変厳しい状況下にあるなか様々な事業を計画推進し、課題解決に向け積極的な活動を進めている。

## 議会のルール⑤

### 表 決

議会に提出された議案などの事件は、最終的に議会の意思を確定されるための手続が行われます。これを、表決といいます。

表決の種類は、簡易表決、起立表決、投票表決ですが、どの件にどの表決方法を用いるかは、議長が判断します。

簡易表決は、議長が原案のとおり決することに異議がないかを諮り、異議がなければ「異議がない」ことを認め、事件の可決を宣告することになっています。この際、原案のとおり決することに異議がある議員は、その旨を申し出ることができます。この異議が出された場合は、起立表決で決することになります。

起立表決における議長の認定に対し異議が出た場合のほか、起立表決において起立者の多少の認定ができない場合などに投票表決を用います。

## 議会の動き

### 11月

- 13日 経済常任委員会（P12、13参照）
- 16日 会派代表者会議
- 18日 全員協議会
- 20日 経済常任委員会（P12、13参照）
- 24日 議会運営委員会  
西いぶり広域連合議会令和2年第1回臨時会
- 25日 例月出納検査
- 26日 会派代表者会議
- 27日 令和2年11月会議（P2、3参照）
- 30日 総務常任委員会  
経済常任委員会

### 12月

- 3日 議会運営委員会
- 10日～14日  
令和2年12月会議（P2、3参照）
- 10日 議会広報常任委員会  
全員協議会
- 11日 議会運営委員会
- 14日 全員協議会
- 18日 令和2年第2回西胆振行政事務組合議会臨時会
- 25日 例月出納検査

### 1月

- 14日 議会広報常任委員会
- 22日 議会広報常任委員会
- 25日 例月出納検査・定期監査

## 編集後記

大変に厳しいコロナ禍が続いています。

観光・飲食業などをはじめ経済が廻らない中、多くの方に影響が及んでいます。

コロナを発症された方には一日も早いご快復を、そして病院関係者の方々には不断の努力に心より感謝を申し上げます。この言う時こそ人の暖かさを感じるのかもしれない。

心を寄せ思いやる気持ちを大事に乗り越えて行きたいものです。

今年の冬は雪の多さも寒さも一段と厳しいようです。

もう少しです。身体に気を付けて過ごして行きましょう。

（千葉）

